



一般財団法人 南西地域産業活性化センター

2026（令和8）年 2月19日

“南西地域のシンクタンク”

NANSEI SHOTO INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

〒900-0015 那覇市久茂地 3-15-9（アルテビル那覇 2F） 電話（098）861-2180

各位

景気ウォッチャー1月調査

沖縄地域の結果

弊財団は、内閣府が主管する景気ウォッチャー調査を取りまとめている三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社より再委託を受けて沖縄地域の調査を行っております。

この度、1月調査の結果をまとめました。調査の概要は以下の通りです。

1. 前回調査に続き、一部の事業者に日中関係の影響はみられるが、観光需要と年始の県内需要は好調であることから現状判断 DI 値は「55.5」と好況。
2. 物価高などの懸念はあるが、好調な観光需要が期待されていることから、2~3 か月先の先行き判断 DI 値は「57.3」と好況の見通し。

詳しい報告につきましては別紙「景気ウォッチャー調査(沖縄地域)2026年1月調査」をご覧ください。

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

・担当：島袋

問い合わせ先：電話 098-861-2180（ファクシミリ 098-869-0661）

E-mail shimabukuro-y@niac.or.jp

報道各社

内閣府において、公表された 2026(令和8)年 1 月
「景気ウォッチャー調査」の調査結果をもとに、弊財団
にて、沖縄地域の結果の概要を取りまとめましたので、
皆様に報告いたします。

一般財団法人南西地域産業活性化センター

会長 本永 浩之

景気ウォッチャー1月調査（季節調整値） 沖縄地域の結果

1. 沖縄地域の1月調査結果

- 1月調査の現状判断DI値は55.5と10か月連続で景気判断基準値の50を上回り好況が続いております。
- 日中関係の影響は全体的に落ち着きをみせているものの、コンビニでは、地域によって中国インバウンドが減少するなど、一部事業者には影響がみられます。
- 県内需要は、自動車販売において初売りが例年の6割程度にとどまり、食料品製造業でも土産や飲食に比べて一般消費者の購買が悪いなど、物価高の影響もみられますが、年末から年始にかけて、スーパーや飲食店などを中心に好調であったことから全体では好況を維持しております。
- その他、雇用関連では、最低賃金の引き上げにより採用への慎重姿勢がみられ、求人数の出し控えはあるものの、人手不足に関する相談は続いているようです。
- 以下は、調査であったコメントです。

家計動向関連：「前年や3か月前との比較では、季節要因による差があるものの、今月は正月やギフト需要の取り込みと客単価の上昇により、前年を上回るペースで好調に推移している。」（スーパー）

企業動向関連：「前回と変わらず、観光関連の土産や飲食は好調だが、小売など一般消費者の購買は悪い。」（食料品製造業）

雇用関連：「一定の企業では、最低賃金引き上げにより採用コストが見合わないことから、採用への慎重姿勢や求人の出し控えが続いている。そのため、求人数が戻っていないとみている。」（求人情報誌製作会社）

2. 沖縄地域の先行き

- 先行き判断DI値は57.3と景気判断基準の50を上回り、2～3か月先も好況とみています。
- 県内需要は、物価高が続く、金利や水道光熱費の上昇などにより、消費が抑えられるとの懸念もみられますが、最低賃金引き上げによる需要の拡大が期待されています。
- 観光需要は、春先のスポーツキャンプやなどで観光客が増加することで、引き続き好調であることが期待されております。
- 以下は、調査であったコメントです。

家計動向関連：「2～3月の宿泊予約数が好調である。また、春先のスポーツキャンプや合宿の入込が前年と比べ伸びているため、先々を楽観視できる状況にある。」（観光型ホテル）

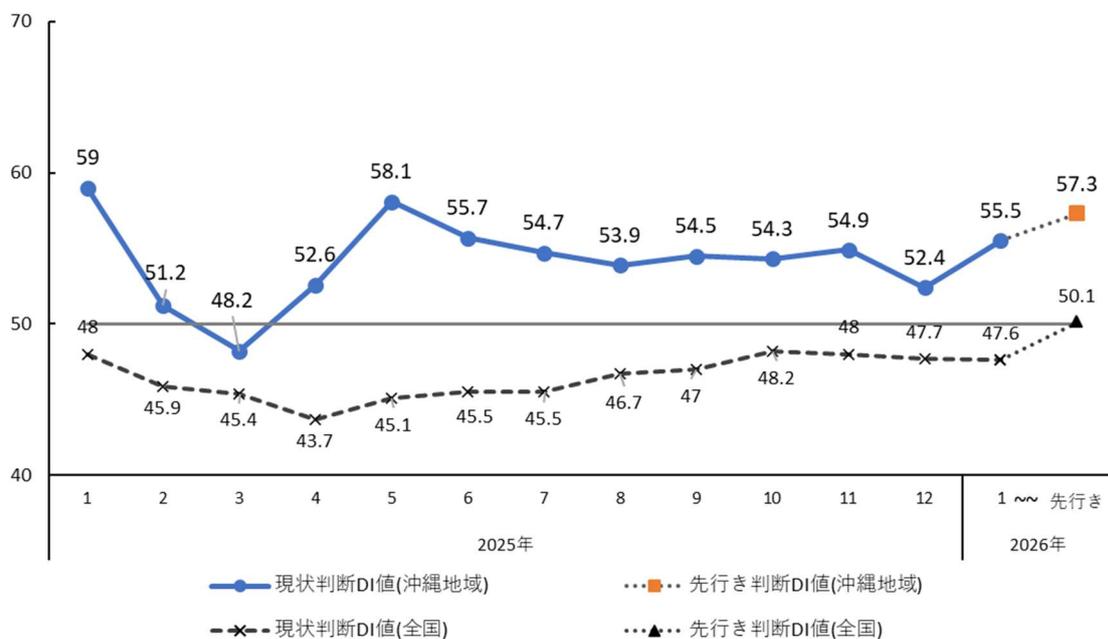
企業動向関連：「資材価格などの物価や人件費高騰の影響はみられるが、個人住宅の需要は落ちていないとみている。」（建設業）

雇用関連：「例年2月後半から3月にかけて、求人数は回復傾向に転じると見込まれる。特に、情報通信分野、コンビニ、流通関連、保育関連などでは、新卒採用や欠員補充を背景に採用が徐々に活発化するとみている。」（求人情報誌製作会社）

3. 所感

- 例年2月は、春節による中国インバウンド需要の拡大が期待されていますが、日中関係による影響がどのように表れるか注視したいと思います。一方、2月より県内各地でプロ野球キャンプも始まっていることから、多くの野球ファンが訪れるのを期待しております。

図 沖縄地域と全国の現状判断 DI 値の推移と先行き判断 DI 値（季節調整値）



出典：内閣府「景気ウォッチャー調査」より NIAC 作成

※「先行き判断 DI 値」は、調査月から 2～3 か月先の景気の見通し。